

# F-Secure Policy Manager for Linux 15 Series

## Install Guide

エフセキュア株式会社



#### ●免責事項

本書は、本書記述時点の情報を基に記述されており、特に断りのない限り、本書内の記述は、本書記載時の製品のバージョンを基にしております。例の中で使用されている会社、名前およびデータは、別途記載のない限り架空のものとなります。

エフセキュア株式会社（以下、弊社）は、本書の情報の正確さに万全を期していますが、本書に記載されている情報の誤り、脱落、または、本書の情報に基づいた運用の結果について、弊社は、如何なる責任も負わないものとします。本書に記載されている仕様は、予告なく変更する場合があります。

#### ●商標

F-Secure および三角形の記号はエフセキュア株式会社の登録商標です。また、弊社の製品名および記号／ロゴは、いずれも弊社の商標です。本書に記載されている全ての製品名は、該当各社の商標または登録商標です。弊社では、自社に属さない商標および商標名に関する、いかなる所有上の利益も放棄します。

#### ●複製の禁止

本書の著作権は弊社が保有しており、弊社による許諾無く、本書の一部であっても複製することはできません。また、譲渡もできません。

#### ●お問い合わせ

弊社は常に資料の改善に取り組んでいます。そのため、本書に関するご質問、ご意見、ご要望等ございましたら、是非 [japan@f-secure.co.jp](mailto:japan@f-secure.co.jp) までご連絡ください。

1. リリースノートをご覧頂き、対象サーバ機が Policy Manager の動作要件を満たしているかご確認ください。  
(併せて Policy Manager 管理者ガイドもダウンロードください。)

[\[Policy Manager リリースノート\]](#)

[\[Policy Manager 管理者ガイド\]](#)

2. 以下のサイトより Policy Manager Server 及び Policy Manager Console インストーラをダウンロードします。

[\[Policy Manager ダウンロード URL\]](#)

3. root 権限でログインします。
4. ターミナルを開きます。  
インストールパッケージ: libstdc++, libstdc++.i686 をインストールしておきます。
5. ダウンロード頂いた Policy Manager Server インストーラを以下のコマンドにて実行します。

ディストリビューション	コマンド
Ubuntu/Debian ベース	<code>dpkg -i fspms_&lt;バージョン番号&gt;.&lt;ビルド番号&gt;_amd64.deb</code>
RPM ベース	<code>rpm -i fspms-&lt;バージョン番号&gt;.&lt;ビルド番号&gt;-1.x86_64.rpm</code>

例: `# rpm -i fspms-15.00.93238-1.x86_64.rpm`

6. インストールが正常に完了致しますと以下の表示例の通りとなります。

```
*****
* F-Secure Policy Manager Server 15.00.93238 has been successfully installed.
*
* Run /opt/f-secure/fspms/bin/fspms-config to finish installation and
* to start the server.
*****
```

7. 初期設定を行います。

引き続きターミナルから以下のコマンドを実行します。

```
# /opt/f-secure/fspms/bin/fspms-config
```

8. 以下の通りの表示になりましたら HTTP ポート番号を入力します。

何も入力せず[Enter] を押しますとデフォルト値または既に設定済みの値を設定した事になります。  
(下記例では 80)

Host module HTTP port:

各ホストが Policy Manager からパターンファイルを取得する際のポート番号です。

---

```
[root@konary-CentOS Downloads]# /opt/f-secure/fspms/bin/fspms-config
```

```
F-Secure Policy Manager Server configuration utility.
```

```
Copyright (c) 1997-2018 F-Secure Corporation. All Rights Reserved.
```

```
There is a README file in the /opt/f-secure/fspms/ directory.
```

```
The README contains links to the release notes and license terms for the product.
```

```
Please read the license terms referenced in the README file.
```

```
You must accept the terms to use F-Secure Policy Manager Server.
```

```
You will be asked a few questions regarding the product installation.
```

```
The default value will be shown in square brackets after the questions.
```

```
To accept the default value, just press Enter.
```

```
Stopping fspms (via systemctl): [ OK ]
```

```
Configure the ports for the Policy Manager Server.
```

```
Host module HTTP port [80]:
```

---

9. HTTPS ポート番号を入力します。

何も入力せず[Enter] を押しますとデフォルト値または既に設定済みの値を設定した事になります。  
(下記例では 443)

Host module HTTPS port:

各ホストが Policy Manager から設定の取得やステータス送信に用いる際のポート番号です。

---

Host module HTTPS port [443]:

---

10. 管理コンソール用ポート番号を入力します。

何も入力せず[Enter] を押しますとデフォルト値または既に設定済みの値を設定した事になります。  
(下記例では 8080)

Administration module port:

Policy Manager Console が Policy Manager Server へ接続する際のポート番号です。

他の端末にて Policy Manager Console をご利用の場合には、“アクセスをローカルマシンのみ制限する”のチェックを外してください。

---

Administration module port [8080]:

---

11. 他の端末へインストールされた管理コンソールからのアクセスを許可するかの設定となります。  
yes または no を入力します。( yes の場合、アクセスは許可されません) 何も入力せず[Enter] を押しますとデフォルト値または既に設定済みの値を設定した事になります。(下記例では yes)

---

Choose whether to restrict access to the administration module (only accessible from the local machine) [yes]:

---

12. Web レポート機能の有効にする場合、yes を入力します。

何も入力せず[Enter] を押しますとデフォルト値または既に設定済みの値を設定した事になります。  
(下記例では yes)

---

Enable Web Reporting [yes]:

---

13. Web レポート機能の有効にされた場合、Web レポート用のポート番号を入力します。

何も入力せず[Enter] を押しますとデフォルト値または既に設定済みの値を設定した事になります。  
(下記例では 8081)

---

Web Reporting port [8081]:

---

14. Policy Manager Console から Policy Manager Server へ接続する際のパスワードをお決め頂き入力します。

---

Creating administrator account.

Enter password:

---

15. パスワード確認の為、再度パスワードを入力します。

---

Confirm password:

---

16. 以下の表示となりましたら設定完了です。

---

Starting fspms (via systemctl): [ OK ]

Configuration is complete. You can manage the F-Secure Policy Manager Server manually  
by typing '/etc/init.d/fspms {start|stop|restart|status}'.

Thank you for using F-Secure product.

---

17. ダウンロード頂いた Policy Manager Console インストーラを以下のコマンドにて実行します。

ディストリビューション	コマンド
Ubuntu/Debian ベース	<code>dpkg -i fspmc_&lt;バージョン番号&gt;.&lt;ビルド番号&gt;_amd64.deb</code>
RPM ベース	<code>rpm -i fspmc-&lt;バージョン番号&gt;.&lt;ビルド番号&gt;-1.x86_64.rpm</code>

例: # `rpm -i fspmc-15.00.93238-1.x86_64.rpm`

18. 以下の表示となりましたらインストール完了です。

```
*****
* F-Secure Policy Manager Console 15.00.93238 has been successfully installed.
*
* A new user group 'fspmc' was created. You should add users, who will use
* the console, to this group.
*
* There is README file in /opt/f-secure/fspmc/ directory. The README contains
* late-breaking news, usage tips and additional information. Please read the
* Licence Agreement included in the README file. You must accept the agreement
* to use F-Secure Policy Manager Console.
*
* Then, run /opt/f-secure/fspmc/fspmc to launch the program.
*****
```

19. 以下のコマンドを実行頂くかアプリケーション>F-Secure>F-Secure ポリシーマネージャコンソールからログイン画面が開きます。

# `/opt/f-secure/fspmc/fspmc`

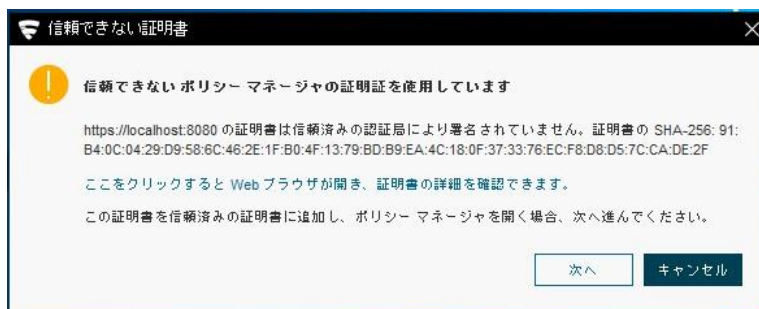


## 20. Policy Manager へのログインについてご説明します。

F-Secure ポリシーマネージャコンソールを起動いたしますとログイン画面が表示されます。  
ユーザ名(デフォルト: admin)・パスワード(インストール時に入力頂いた値)を入力しログインしてください。



ログイン後、以下の証明書に関する確認メッセージが表示されますので[次へ]押してください。



既にライセンスをお持ちの場合には顧客 ID を入力頂き[次へ]押してください。  
評価版としてご利用になられる場合には、“登録する前に製品を評価する”を選択頂き[次へ]押してください。



評価版の場合、30 日間機能制限なくご利用頂けます。  
評価版でご利用の場合、ログイン時に毎回この画面が表示されます。製品版に切り替えられる場合には、  
顧客 ID を入力頂き[次へ]押してください。



※ポリシーマネージャの登録に失敗する場合やオフライン環境下でお使いの場合:

“ポリシーマネージャを登録する”画面では、入力された顧客 ID を基にライセンス認証サーバへアクセスします。ファイアウォールによりライセンス認証サーバ(<https://corp-reg.f-secure.com:443>)へのアクセスが許可されていない場合には通信を許可するようご設定ください。

ファイアウォールによる通信制限を解放できない場合やオフライン環境下でお使いになられる場合には、オフライン認証用トークンファイルによる認証が必要となります。以下のドキュメントをご覧ください。オフライン認証用トークンファイル発行をご依頼ください。

[ポリシーマネージャ 顧客 ID 登録ガイド]

[ポリシーマネージャ構築ガイド 12 ページ \(PDF\)](#)